

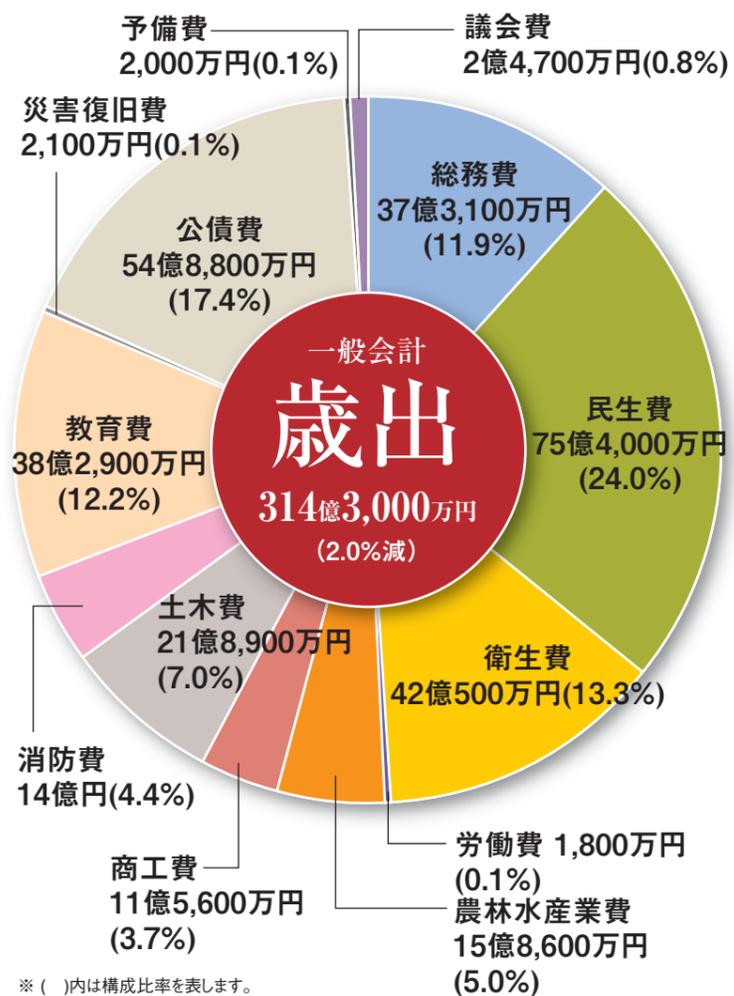
# 当初予算 歳出

『ふるさと七尾』発展のための施策に重点的な財源配分を行い、『交流基盤充実の効果を最大限に活かす取り組み』、『地域資源を活かした産業の振興』、『安全、安心、快適で暮らしやすいまちづくり』、『里山里海を守り育てる人づくり』、『協働のまちづくりと簡素で効率的な行政運営』の5つを柱として、交流体感都市の実現に向けて、積極的に取り組んでいきます。

主なものとして、土木費では、旧中央図書館および小丸山城址公園周辺の市街地西地区の整備に1億3,611万2千円、商工費では、和倉温泉テニスコート(仮称)の建設に6億2,050万円を計上しています。また、民生費では、消費税率の引き上げによる低所得者や子育て世帯の生活への影響を緩和するための給付金に2億6,736万1千円や中学卒業までの子どものインフルエンザ予防接種の一部助成に638万4千円を計上しています。

教育費では、子どもの教育環境の整備・充実を図るため、南エリアの統合中学校建設事業に12億7,430万2千円を計上しています。

**【用語解説／歳出】**  
 総務費：市の事務・庁舎管理、市民活動の推進などに要する経費  
 民生費：児童・高齢者・障害者福祉、生活保護、福祉医療などに要する経費  
 衛生費：各種健診、予防接種、環境保全、ゴミ処理、し尿処理などに要する経費  
 教育費：学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費  
 公債費：市の地方債(ローン)を返済する元利償還金などの経費



※( )内は前年比

## 公営企業以外の特別会計

ケーブルテレビ事業特別会計	5億5,117万4千円 ( 8.0%)	簡易水道事業特別会計	2億4,627万1千円 (△0.3%)
国民健康保険特別会計	69億4,607万8千円 (△5.9%)	下水道事業特別会計	35億8,904万2千円 ( 1.7%)
後期高齢者医療保険特別会計	7億1,304万3千円 ( 3.6%)	公設地方卸売市場事業特別会計	1億3,139万7千円 ( 2.0%)
介護保険特別会計	66億9,911万6千円 ( 3.9%)	西岸財産区特別会計	11万8千円 ( 0.0%)

## 公営企業会計

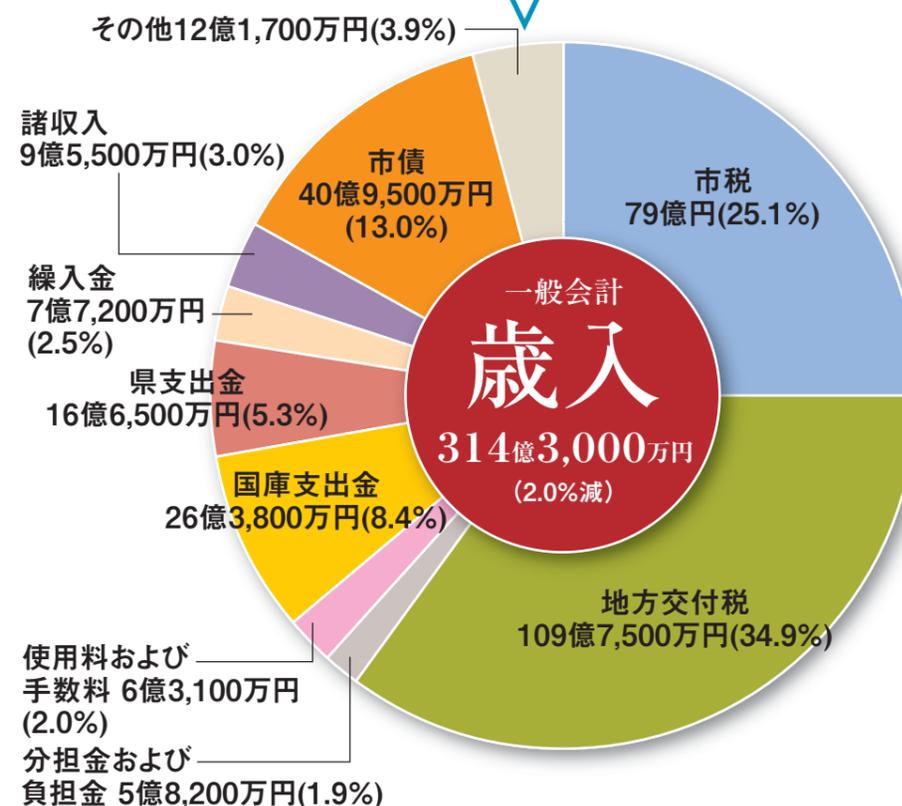
水道事業会計	27億8,834万7千円 ( 8.9%)
病院事業会計	118億1,794万8千円 ( 8.8%)

## 一般会計 対前年度比 -6億4,000万円 [2.0%減]

# 314億3,000万円

予算総額 649億 1,253万 4千円

(一般会計・特別会計・公営企業会計をあわせたもの 対前年度比 4億8,341万6千円 0.8%増)



※( )内は構成比率を表します。

### 【用語解説／歳入】

市税：市民税、固定資産税など皆さんが納める税金  
 地方交付税：地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるように国が地方公共団体へ交付するもの  
 国庫支出金：各種事業に対する国からの補助金など  
 県支出金：各種事業に対する県からの補助金など

## 当初予算 歳入

地方税財政制度の大幅な改正がありますが、市税は、市民税や固定資産税などをあわせて79億円、地方交付税は、109億7,500万円を見込んでおり、平成25年度と同程度の水準を確保できる見込みとなっています。

市債は、南エリア統合中学校建設事業や和倉温泉テニスコート(仮称)整備事業など、40億9,470万円を予定しています。

また、財政調整基金から3億8,000万円を繰り入れし、年度間の財政調整を行っています。

平成26年度

# 予算のあらまし